入院のご案内



大阪公立大学医学部附属病院

OSAKA METROPOLITAN UNIVERSITY HOSPITAL

この冊子は入院時に必ず一読しご持参ください

入院される患者さん・ご家族の皆さんへ



大阪公立大学医学部附属病院の理念

私たちは、医学部建学の精神である「智･仁･勇」に基づき

1　地域住民の健康に寄与する質の高い医療を提供します。

2　こころ豊かで信頼される医療人を育成します。

3　医療の進歩にたゆまぬ努力を続けます。

基本方針

- 患者さん本位の安全で質の高い医療を提供します。
- 地域医療の向上に寄与します。
- 健康･予防医学を推進します。
- 最新の高度医療を提供します。
- 人間味豊かで国際感覚をもった優れた医療人を育成します。
- 新しい診断法･治療法･予防医学の開発を行います。
- 質の高い多彩な研究を推進します。

患者さんの権利

- 安全で質の高い医療を受けることができます。
- 自由意志に基づき治療を選択することができます。
- 十分な説明と情報提供を受けることができます。
- セカンドオピニオンを希望される場合は、紹介を受けることができます。
- 人の尊厳を尊重した医療を受けることができます。
- 医療に関する個人情報やプライバシーが保護されます。
- 健康教育を受けることができます。

患者さんの責務

- 病状など必要な情報は正確にご提供ください。
- 納得し合意した医療方針には積極的に取り組んでください。
- 病院内の規則や指示を守ってください。
  （暴言･暴力･迷惑行為があった場合、警察へ通報することがあります。）
- 適時適正に医療費をお支払いください。

こどもの権利

- こどもたちや親たちは、年齢や理解度に応じた方法で、病気や治療の説明を受け、すべての決定において参加することができます。
- こどもたちは、不必要な医療的処置や検査から守られます。
- こどもたちは、いつでも親または親代わりの人が付きそう権利があります。
- こどもたちは、年齢や症状にあわせて、遊び、レクリエーションに参加し、教育を受けることができます。
- こどもたちは、気配りと共感をもって治療され、プライバシーはいつでも守られます。

大阪公立大学医学部附属病院の役割について

特定機能病院

当院は医療法に定める「特定機能病院」の承認を得ており、専門別高度先進の医療機能を有する病院です。

教育機関としての役割

本院ではすぐれた医師、看護師ならびに救急救命士等を養成し、社会に貢献するため、指導医師・看護職員等の監督下に医科・歯科研修医、看護師・看護補助者等の研修ならびに医・看護学生等の実習を行っております。

転院・退院のご理解とご協力のお願い

急性期治療を中心とした高度先進医療に取り組んでおり、患者さんの病状が安定し、当院での治療が終了した場合には、転院やご自宅での療養をしていただくことが必要となります。その際にはスムーズな転院・退院ができるようサポートさせていただきます。

※これらの趣旨をご理解の上、皆さんのご協力をお願いいたします。

個人情報について

患者さんの個人情報保護についてのお知らせ

- 当院では、患者さんに安心して医療を受けていただくために、安全な医療をご提供するとともに、患者さんの個人情報の取り扱いにも、細心の注意を払っています。
- 患者さん本人確認のため、病室・薬袋・注射・点滴・検査容器等にはお名前を表示させていただきます。
- 患者さんに関する電話によるお問い合わせには、原則応じかねます。
- 病室の入口に患者さんのお名前を表示いたします。不都合がある場合はお申し出ください。

もくじ

		ページ
1	**入院されるまでの準備・手続きについて** ● 入院日の決定 ● 入院当日の手続きについて ● 連帯保証人について ● 病室について ● 手術を受けられる患者さまへ ● 治療前の歯科口腔ケアについて	1
2	**相談窓口**	3
3	**入院時にご用意いただくもの** ● 日用品としてご準備いただくもの ● ご注意いただくこと ● 持参されるお薬についてのお願い ● 入院中に使用する履物について	4
4	**入院生活について** ● 診療について ● 食事について ● 入院生活のリズム	7
5	**皆さんにご注意いただきたいこと** ● リストバンド装着とフルネームでの確認について ● 転倒・転落を防ぐための注意点とお願い ● 感染防止について ● 入院中の他院受診について	8
6	**皆さんに守っていただきたいこと** ● 携帯電話・モバイル端末のご使用について ● 院内での撮影、録音について ● 敷地内禁煙について ● 外出・外泊について ● 貴重品管理と盗難防止について ● ゴミの後始末について	9
7	**ご家族・お見舞いの方へ** ● 面会について	11
8	**医療費等について** ● 医療費の計算方法(DPC)について ● 室料差額室(有料個室)の料金について ● 高額療養費現物給付制度について ● 入院費用について ● 退院について ● 証明書等の発行 ● 医療費控除 ● 忘れ物の取扱いについて ● 医療費後払いサービスについて	12
9	**病院施設について** ● 院内施設案内 ● 各階案内	16

当院へのアクセスは裏表紙をご覧ください。

1 入院されるまでの準備・手続きについて



入院日の決定

●入院日のご連絡は入院申込み後、決定次第、受診した診療科から電話等で行います。
●入院日に関してご不明な点がありましたら、受診診療科までお申し出ください。
●入院日に関しましては医師への確認が必要なため、その場でのご返答が出来ない場合がございますので、ご了承ください。
●入院費用は退院までに必ずご準備ください。(詳しくは、8 医療費等についてをご確認ください。)

入院当日の手続きについて

●入院当日は、決められた時間(9:00～10:30)までに、下記書類をご用意の上、1階入院受付窓口⑳㉑番で入院手続きを行ってください。(㉑番窓口右側の入院整理番号(ピンクファイル)をお取りになってお待ちください。)
●特別室に入院される方は、1階での手続きは不要です。直接18階受付にお越しください。
●時間外・夜間・休日となる場合は、地下1階時間外窓口で手続きを行ってください。

持参していただく書類	
①入院申込書(別添)(押印したもの)	⑤介護保険被保険者証 (要支援・要介護の方のみ) その他各種医療受給者証 (該当される方のみ)
②診察券(IDカード)	
③マイナ保険証(カード・スマホ) ／資格確認書	⑥入院予定日から起算して3ヶ月以内の 退院証明書(当院以外の入院が対象)
④高額療養費「限度額適用認定証」等 (P.13参照)	

(注1)①入院申込書は注意事項をよく読んで、事前に必要事項を黒か青の消えないボールペンで必ず記入しておいてください。
入院中の検査・手術などの同意書記入時には印鑑が必要になることがあります。
(注2)③の書類提示が遅れますと、その提示があるまで自費料金扱いとなります。
⑤の書類提示が事前に無い場合は、通常の自己負担額にてお支払いいただきます。お持ちの場合は必ず事前にご提示ください。
(注3)緊急入院となった場合は必要書類がそろい次第お手続きください。
(注4)事前にお渡しした検査や手術の同意書(説明文書含む)は、署名のうえ入院当日に病棟へ提出してください。

連帯保証人について

●連帯保証人は、独立の生計を営む成年の方にお願いしております。(同居家族でも別生計であれば可)
●入院申込書にご記入いただきました連絡先、連帯保証人の情報は入院診療に関する業務、入院諸費用の支払いが滞った場合等に利用させていただくことがございますので、予めご了承ください。
(※捺印は必ず朱肉を使用するもので、本人さまと同姓の場合は印影の異なる印鑑を押印ください。)
連帯保証人欄は必ず本人に記入・捺印していただきますようお願いいたします。



病室について

●1室4～6人が病室の標準です。(窓側・廊下側のご希望をうかがうことは出来ません。)
各病床(6階東病棟除く)には、床頭台(引き出し式簡易金庫・テレビ・冷蔵庫付)、ロッカー等を備えています。
(※ブルーレイ/DVDプレーヤーは貸し出しです。テレビ・冷蔵庫はプリペイドカード式です。)

●個室・準個室を希望される方は、入院申込み時に申し出てください。(治療内容や手術日、様々な感染症の流行状態によってはご希望に添えない場合があります。入院当日の申し出・変更はできません。)利用する際は室料差額料金が必要です。
詳しくは「室料差額室(有料個室)の料金について」(P.12参照)でご確認ください。

●準個室・個室に入院の際は同意書が必要となりますので必ずご提出ください。(P.12参照)

●「治療の必要上」・「感染防止等病棟運営上」等、病院側の判断により入室いただいた場合は、個室料金はいただきません。(P.12参照)

●一般病床及び準個室には、患者さんにご利用いただけるインターネット環境はございません。

●神経精神科の患者さんであっても身体疾患治療のために入院をされる場合、主治医の判断により一般病棟に入院していただくことがあります。

●当院は急性期病院であり、より多くの患者さんに治療を受けていただくため入院期間中に病室・病棟を移動していただく場合がございます。

●病室内に監視モニターが設置されている部屋がありますが監視モニター使用の場合は、事前に同意を得て使用します。

手術を受けられる患者さんへ

●各診療科で説明された内容に沿ってご準備をしておいてください。また下記のような場合、手術が延期されることもありますのでご注意ください。

●アクセサリー類やかつら、エクステ、つけ爪、まつげエクステ、つけまつげは外し、マニキュア・ペディキュア(ジェルネイル等)は必ず全部除去してください。(取り外しができない場合、手術が延期になることがあります。
取り外しのできないものがあれば外来で(または入院までに)ご相談ください。)

●予防接種ー不活化ワクチン(インフルエンザ等)接種後2週間、生ワクチン(風しん等)接種後4週間は、全身麻酔下・脊椎麻酔下の手術は原則延期となります。該当される方は必ず入院前に担当医師にお伝えください。

●内服薬について
内服薬の種類によっては、手術前に休薬するか、継続するか医師の判断が必要です。
手術前に適切に管理されていないと手術が延期になることがあります。
手術を受けることが決まったら、できるだけ早い時期に現在服用されている薬を担当医にお伝えください。
お薬手帳やお薬説明書などの情報をお持ちの場合はご提示ください。
入院前に服用状況の確認が必要なお薬:

- 血液をさらさらにするお薬や血液の流れをよくするお薬
  (抗凝固薬、抗血小板薬、末梢循環改善薬や脂質異常症のお薬など)
- 経口避妊薬(低用量ピル)　・ホルモン剤や骨粗鬆症治療薬の一部　など

●サプリメント、健康食品を摂られている方は、必ず事前に担当医にお申し出ください。

●当院では教育研究や医療の安全性を確保する目的で、各種診療映像を記録することがあります。

治療前の歯科口腔ケアについて

●全身麻酔での手術・化学療法を予定されている方へ

- 入院までに歯科を受診し歯石の除去、歯肉炎・歯槽膿漏・ぐらつく歯などの確認・治療を行ってください。
- 全身麻酔下での手術では人工呼吸が必要となり、そのために気管にチューブを入れますが、その際の操作や歯ぎしりなどで歯が折れたり、ぐらついたりする場合があります。
- 口腔内が不衛生な状況のまま全身麻酔下での手術を受けられますと、口腔内の汚染が気管内や肺に波及し、術後に肺炎が起こりやすくなります。
- 化学療法(抗がん剤、生物学的製剤)は、歯や歯肉への副作用があります。事前に口腔内の異常を発見し、治療を行うことで安全に化学療法が実施できます。

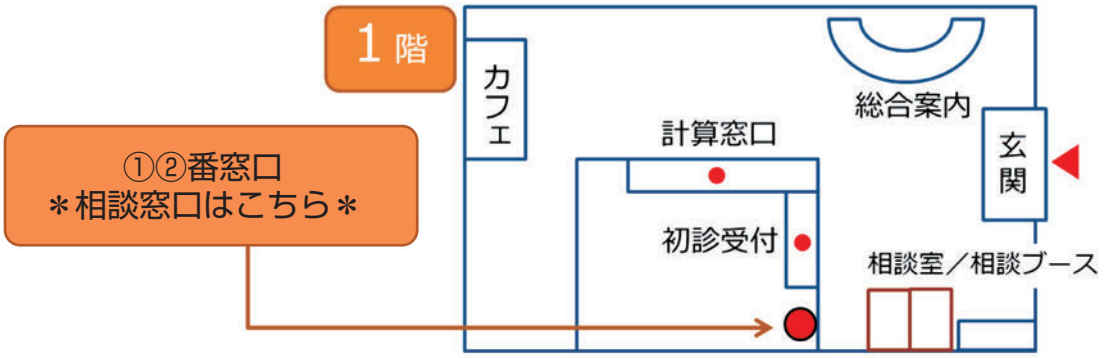
2 相談窓口



当院では、医療制度・医療費・社会復帰に関する問題や診療等に関する問題についてのご相談、がんに関する相談・情報提供など、療養上の不安や問題の解決に向けお手伝いをさせていただくために**患者総合支援センター**を設置しています。お気軽にご相談ください。ご相談により患者さんご自身が不利益になることはございません。内容により当該担当者がご相談をお伺いいたします。
（プライバシーに配慮した面談室もございます。）

患者総合支援センター（1階）		
総合案内	8:30～16:45	
相談窓口①	9:00～16:45	疾病に関する質問、日常生活および入院の不安などの相談 1.各種医療相談 受診科相談 在宅療養相談 セカンドオピニオン がん相談（がん相談支援センター） 肝疾患相談（肝疾患相談支援センター） 認知症相談（認知症疾患センター） 造血幹細胞移植相談（造血幹細胞移植相談支援センター） 患者申出療養制度相談 仕事と治療の両立支援相談 2.医療安全相談
相談窓口②	9:00～16:45	医療制度、医療費 1.制度・費用相談

（休診日を除く）



☑ 入院される前にぜひご相談ください

入院費用は、経済的にも大きな負担となることがあります。

難病医療や身体機能の回復を目的とした手術の場合、公的な医療費の助成を受けられる場合があります。

助成制度が適用される場合でも、手続きに時間がかかったり、申請した日や受理した日からでないと適用されないものもありますので、お早めにご相談いただくことをお勧めします。

入院による生活や仕事・学校についての心配、退院後の療養計画、生活環境・社会復帰などについての相談も承っております。

3 入院時にご用意いただくもの



日用品としてご準備いただくもの

- ☐ ねまき・パジャマ
  （手術をされる方は前開きのものをご用意ください）
- ☐ 下着
- ☐ 洗面用具（ハミガキ粉・ハブラシ）
- ☐ 石けん・ボディーソープ
- ☐ シャンプー
- ☐ ブラシ・くし
- ☐ タオル
- ☐ バスタオル
- ☐ ティッシュペーパー
- ☐ かかとの覆われた履物（靴）
  （転倒防止のため）（P.6参照）
- ☐ 義歯・眼鏡等のケース（必要に応じて）
- ☐ はし



- ☐ スプーン
- ☐ フォーク（必要に応じて）
- ☐ 持ち手付コップ
  （ガラス・陶器などの割れ物は持参しないでください）



- ☐ 吸い飲み（手術を受けられる方）
- ☐ 水筒（必要に応じて）



- ☐ 現在服用しているお薬と説明書（P.5参照）
  （お薬手帳や説明書等、薬品名のわかるもの）
- ☐ イヤホン（TV用・病院売店でも購入可能です）
- ☐ 置き時計又は腕時計
- ☐ 入院のご案内（この冊子）
- ☐ 筆記用具
- ☐ サージカルマスク（不織布）
- ☐ おしり拭き（必要に応じて）
- ☐ その他必要な日用品



※ゴミ箱は各ベッドに備えてありますので、お持ちいただかなくても結構です。
※当院では、患者さんやご家族による入院時に必要な物品の準備や洗濯等の負担を軽減するため、病衣、タオル等のレンタルシステム（有料）を導入しております。
申し込みは、1階エスカレーター横【入院用品レンタル受付】にて承ります。
【電話での問い合わせ先】
株式会社アメニティ お客様相談室 0120-918-859（営業時間9:30～17:00 土・日・祝日は休み）

☑ 持込を禁止しているもの

☒ 病室での電化製品類、ポケットWi-Fiの使用はご遠慮ください。
冷蔵庫・テレビは備付のものをご利用ください。（プリペイドカードが必要です。）
☒ 生花（感染予防のためお断りしています。）
☒ ペットなどの動物

ご注意いただくこと

- 収納する場所が限られておりますので荷物は最小限にしてください。
- たたむことができないスーツケース・キャリーバッグは収納する場所がないため、使用を控えてください。
- 「入院のご案内」（この冊子）は、入院時に必ずご持参ください。
- 手術の際に使用する術後衣は、ご希望により同意書記載の上、病棟（一部除く）で有料貸出（1入院300円（税込））ができます。希望される方は入院された病棟でお申し出ください。

持参されるお薬についてのお願い

●当院では患者さんが現在使用中で、お持ちいただいたお薬(持参薬)については、薬剤師がお薬の飲み方などについて確認を行うことで円滑な薬物治療の実施に役立てています。お薬は、薬局などでもらった袋に入れた状態でお持ちください。お持ちいただいた薬は、基本的に入院期間中は使用しませんが、主治医の判断で使用させていただく場合もあります。

以下の要領でお薬(飲み薬や普段お使いの目薬、ぬり薬、はり薬などの外用薬やインスリンなどの自己注射を含む)をご準備いただきご持参ください。

①薬は切り離さずシートのままお持ちください。

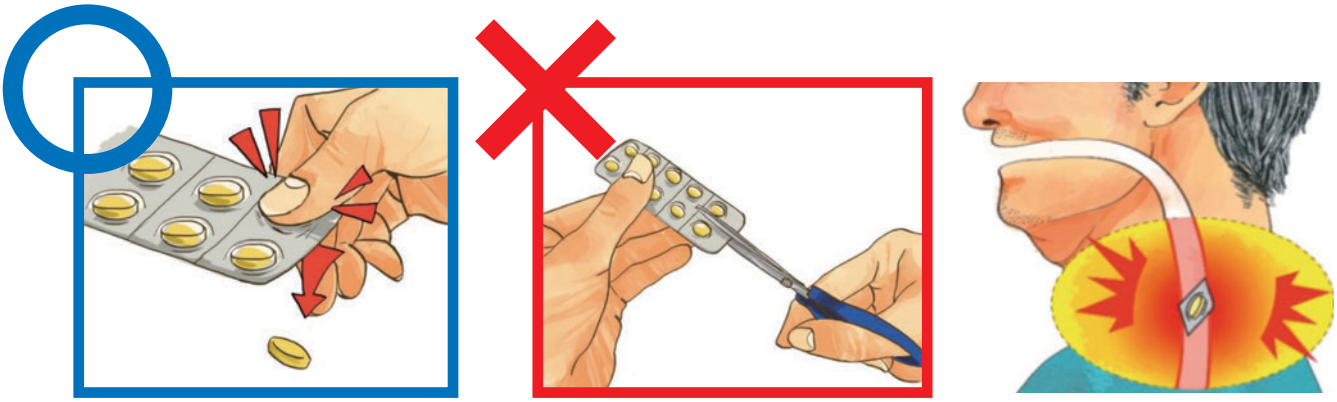
②**お薬手帳**や**現在使用されているお薬の説明書**をお持ちの場合には必ずご持参ください。
(お薬について正確な情報をスムーズに確認するためご協力をお願いします。)



☑ 当院はお薬の包装シートの誤飲防止に取り組んでいます。

お薬の包装シートは1錠ずつ小さく切り離さないでお薬だけを取り出してお飲みください

お薬を包装シートのまま飲み込んでしまうと、のど、食道、胃腸が傷つき、穴があきます!



入院中に使用する履物について

☑ 入院する時の履物えらび　―スリッパはダメ!!―

入院生活は、住み慣れたご自宅と生活環境が大きく異なり、

- 体力や運動機能の低下
- 安静（たった1日寝ていただけ）でも、筋力が低下
- 点滴をしたり、身体に管が入ったりしていると、動きにくい
- 飲んでいる薬によっては、ふらつくことがある

などから、誰もが転びやすくなります 。

転ぶと、**骨折や脳内出血などを起こし、手術になったり、入院が長引くことがあります 。**
スリッパやサンダルなどのように**かかとが覆われていない履物**は、歩くときに足首が固定できません。
またバランスをくずして不安定となり、**4～5倍、転びやすく危険です!**



入院中の適切な履物

- 履き慣れた、かかとが覆われた靴タイプの履物
- 転びにくいシューズを当院の売店でも販売しています

※かかとが覆われた靴タイプの履物が履きにくい方や、前かがみの姿勢がつらい方は、靴ベラをお持ちいただいても構いません。ご自身の状況にあわせてご準備ください。

※転倒防止のため、ひも靴はお控えください。やむを得ずひも靴にされる場合、ほどけないようにしっかりと結んでください。

かかとの覆われた履物でも
かかとを踏んで歩くと、スリッパやサンダルと同じで危険です。

入院中は、「かかとの覆われた履物」（靴）を履いて 、安全な入院生活を送りましょう。

4 入院生活について



診療について

●外来での主治医と病棟での主治医は異なることがあります。
●病気や検査・処置については、医師や看護職員から説明を受けてください。
●お困りのことやご希望などがあれば、医師や看護職員にご相談ください。

食事について

●入院中のお食事は、病状に応じて医療の一環として病院から提供いたします。食事に関する費用は1食550円となっています。
（ただし、出産等の自費診療の場合や市町村税非課税の世帯の場合はこの限りではありません。）
●常食A（普通食）の患者さんを対象に、お食事を選べる「選択メニュー」を水～金の昼食と夕食に実施しています。ご希望の方は病棟にメニューを掲示しておりますので、所定の用紙に必要事項を記入しメニューの選択をお願いいたします。
※食べ物や薬でアレルギーや副作用がある方はスタッフにお申し出ください。
なお、嗜好（好き嫌い）による対応はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
●お茶の提供はございませんので、必要な方はご用意をお願いします。

入院生活のリズム

点　灯 6:00	6:00以前にお目覚めになられても他の患者さまのご迷惑にならないようお静かにお過ごしください。
朝の検査	事前に説明を受けられている患者さまへの採血・採尿等を行います。
体重測定	定期的に体重を測っていただきます。
食　事 	朝8:00頃　昼12:00以降　夜18:00以降　配膳状況により時間は多少前後いたします。手術や検査のある患者さんには食事提供がないことや遅れて配膳される事があります。そのような場合には事前にお知らせいたします。 個人のはし・スプーン・フォーク、ゴミ等、病院の食事で提供されたもの以外はトレーに乗せずに下膳してください。各病棟の食堂にオーブントースターを設置してありますのでご利用ください。食事のことで疑問やお困りのことがあれば遠慮なくご相談ください。
お　薬	入院中は主治医の指示した薬をご使用ください。 それ以外の薬が必要となった場合には主治医にご相談ください。 
シャワー	主治医の許可のもと各病棟の利用時間・利用方法にしたがってください。
寝　具	ベッド、ふとん等は、病院のものを使用していただきます。 （寝具の持込みはご遠慮ください。）
付　添	入院中は、看護職員がお世話いたしますので付添いの必要はありません。ただし、ご家族の希望があり（感染症の流行状況により付添不可の場合があります。）、主治医が認めた場合には在室していただくことができます。
消　灯 22:00	夜22:00以降はテレビやラジオを消して静かにおやすみください。消灯後は定期的に看護職員が病室を巡回いたします。夜中でも体調の変化やご用があればナースコールでお呼びください。　※小児医療センターの消灯は21:00

5 皆さんにご注意いただきたいこと



リストバンド装着とフルネームでの確認について

●本院では、患者さんの誤認防止のためにすべての入院患者さんに「リストバンド」を装着していただいております。採血や注射などが正しく行われるようリストバンドのバーコードを読み取っています。
●患者さんのお名前の確認は姓名（フルネーム）で行っておりますので、職員がお尋ねした時は姓名（フルネーム）でのご返事の協力をお願いいたします。

転倒・転落を防ぐための注意点とお願い

療養環境を整備することにより、転倒・転落防止に努めています。しかし入院中は、環境の変化、活動量の低下に伴う筋力低下、薬の投与などにより、思いがけない転倒やベッドからの転落が起こることがあります。安全な入院生活を送るため、患者さんやご家族の方々と一緒に、転倒・転落の防止に努めますのでご協力をお願いします。

●介助が必要な方には、トイレ等の移動時には看護職員が同行します。通常、移動時に介助が不要な方でも、移動に不安を感じる場合は遠慮なくナースコールを押してください。
●履物は滑りにくく脱げにくい履き慣れた運動靴などのかかとが履われたものを準備してください。（P.6参照）
●転倒や転落した時、また、それらを目撃した場合は、すぐにご連絡ください。
●入院後、詳しい注意点については転倒防止に関するDVDや説明文書がありますのでご覧ください。

感染防止について

院内感染防止のために様々な対策を実施しています。しかし、院内には免疫力が低下した患者さんもいらっしゃるため、患者さんやご家族の方々にも感染防止に気を付けていただく必要があります。特に大切なことは「手指消毒」です。食事前、トイレの後はもちろん、病室の出入りの際も手指消毒していただくようお願いします。

●院内では、サージカルマスク（不織布）着用のご協力をお願いいたします。
●感染に気をつける必要がある微生物（細菌やウイルス等）を保菌、もしくは感染している時には、患者さんに次のことについてご協力をお願いすることがあります。
・手指消毒の徹底や院内での行動制限、洗濯物の取り扱いなど
・診療の順番等が遅くなること
・個室に入室していただくこと





●感染症の発生に伴い、他の患者さんで個室管理が必要となった場合、個室から大部屋へ移動していただくことがあります。

入院中の他院受診について

●入院中の患者さんで、他病院の受診をされる場合は必ず事前にお知らせください。
●受診時は必ず主治医に相談いただき、前日までにお申し出ください。
●先方病院への受診書類を準備しますので必ず受診時に持参するようにしてください。
●お薬を処方された場合は必ず主治医にご提出ください。
●外出・外泊中の他院受診についても同様です。患者さんの入院費の精算方法が変わりますのでご注意ください。
●患者さんからの申し出が無い場合は保険の適用がされず全額患者さんの負担となることがあります。
●ご不明な点については職員にお尋ねください。

6 皆さんに守っていただきたいこと



▶ホームページ
「ペイシェントハラスメントに対する基本方針」スマートフォンで読み取ってください。

- 現在の心身の健康状態、その他の必要事項について正確な情報をお知らせください。
- 検査や治療などの行為は説明を受け、納得・同意の上受けてください。
- 病状の変化や、治療中に問題が生じた場合には速やかにお知らせください。
- 病院内の備品（点滴台、車いす、歩行器等）は院外に持ち出さないようお願いいたします。
- 地震や火災等の非常事態が生じた時は、医師・看護職員・病院職員の誘導に従ってください。
- 当院では、「ペイシェントハラスメントに対する基本方針」を定めております。
  事故防止の点から無断外出・外泊や他人に迷惑をかける行為、病院の秩序を乱すような行為（喫煙・飲酒（ノンアルコール飲料含む）・賭けごと・暴言・暴力・セクハラ行為・不法行為等）は禁止いたします。また、そのようなことがあった場合には、強制退院していただくことがあります。詳細は当院ホームページをご確認ください。
- 医療費支払い請求を受けたときには期日までにお支払いください。
- 当院では、患者さんの安全を考慮し、病状によっては行動を制限させていただくことがありますのでご理解ください。
- 当院では、ごみの分別を進めておりますのでご協力をお願いいたします。
- 共用スペースは、お互いにマナーを守ってご利用ください。
- 緊急時のやむを得ない場合以外は、患者さんへの電話の取次ぎはお断りしております。
- 刃物、はさみ、カッターなどの危険物を持ち込まれた場合、病院が一時的にお預りし、管理・保管することがあります。
- アクセサリー類やかつら、エクステ、つけ爪、まつげエクステ、つけまつげ、マニキュア・ペディキュア(ジェルネイル等)は治療の妨げとなるためおやめください。
- 義歯・眼鏡・補聴器を装着されている方は保管用のケースを持参してご自身で管理をお願いいたします。
- 職員に対する金品等の贈与は、固く禁じております。
- 入院時自転車等でお越しになりますと、長期放置となり撤去される場合があります。急遽ご入院となった場合等は地下1階防災センターへお声かけください。

携帯電話・モバイル端末のご使用について

使用許可エリアと制限エリア

			通話	メールWeb等	備考
外来待合ホール			○	○	通話はマナーを守り、他の患者さんの迷惑にならないようお願いします。
デイルーム			○	○	デイルーム・地下1階～3階外来外待合では無料Wi-Fiがご利用できます。
病室	個室		○	○	
	総室・準個室		× マナーモード設定	○	**通話はお控えください。** 過度な光や音は、他の患者さんの迷惑にならないようご配慮ください。
集中治療室・手術室 検査室・処置室 外来診察室			×	×	医療機器に影響を及ぼすため、電源OFFもしくは機内モードにしてください。

- 各病棟ごとに公衆電話を設置しております。できるかぎり静かにご利用ください。
  ※「10円・100円硬貨」のみ使用できます。※「テレホンカード」は使用できません。
  ※「番号非通知を着信拒否」設定している電話には、かけることはできません。相手方に「非通知着信拒否」の設定を解除してもらってください。

院内での撮影、録音について

●当院では、患者さんや職員のプライバシーに配慮する上で、許可なく、院内でのカメラ・ビデオカメラ・携帯電話等による写真（動画）撮影・録音をすることは禁止しております。

敷地内禁煙について

●当院敷地内は法令により**全面禁煙**（電子タバコを含む）となっておりますので、ご協力お願いいたします。



外出・外泊について

●外出・外泊は主治医の許可が必要です。前日までに主治医または看護職員にご相談ください。
●外泊中の生活については主治医の指示に従うようにしてください。
●外出・外泊された際にも入院料、個室料金はご負担いただくこととなります。
●やむを得ない事情で帰院が遅れる場合には必ず病棟へご連絡ください。
●予定の時間になっても帰院されない場合は、ご家族への連絡や状況によっては警察へ連絡することがあります。
●無断外出・無断外泊・無断離院をされますと、当院での入院治療の継続が困難となります。
●無断での外出・外泊時の事故は当院では責任を負いかねます。
●感染症等の影響により外出・外泊※を制限する場合がありますので、ご了承ください。
※原則1泊2日



貴重品管理と盗難防止について

当院及び近隣の病院において盗難事故が発生しております。事故を未然に防止するために、次の事項をお守りください。

●多額の現金、貴重品はお持ちにならないようにお願いいたします。万一、盗難・紛失・破損などがおこりましても当院では責任を負いかねます。やむを得ず多額の現金をお持ちの場合は、地下1階の金融機関を利用される等の自己管理をお願いいたします。
●引き出し式簡易金庫を床頭台に備え付けております。**必ず施錠の上、貴重品の保管にご利用ください。**
●引き出し式簡易金庫の鍵の施錠は各自で確実に行い、**病床から離れる際は鍵を常に身に付けて**おいてください。鍵は各自の責任でお持ちください。
●当院では貴重品のお預かり、引き出し式簡易金庫の施錠など患者さんの貴重品に触れることは原則いたしません。
●患者さんの健康保険証・医療証等は1階入院窓口⑳㉑番及びナースステーションを通じて確認しています。特別の場合を除いて職員が保険証等をお預かりすることはありません。
（職員は所属・氏名を明記した名札を着用しています。）
●不審な人物を見かけられた場合は、お近くの病院職員までお知らせください。
●当院では、患者さんに安全にお過ごしいただくため、防犯カメラを設置しております。ご了承ください。

ゴミの後始末について

●ゴミは一般ゴミ（燃えるゴミ）、プラスチック、カン類、ビン類、ペットボトルに分別廃棄していますので、所定の場所にお捨てください。
●レンタルシステムのサービス日用品については、各自でお持ち帰りください。

7 ご家族・お見舞いの方へ



面会について

●入院している他の患者さんの診療や安静を妨げないように、面会時間をお守りいただき、談話室をご利用ください。医療者の許可のない時間外の面会はお断りいたします。

●お子さん(15歳未満)同伴面会

	面会できる場所	面会できる時間帯	面会できる人
面会制限	病院全体	13～19時 (受付は18:50迄)	6歳以上
	7階/17階西病棟	13～19時 (受付は18:50迄)	12歳以上
	8階東病棟	15～19時 (受付は18:50迄)	
	救命救急センター	13～17時	
	HCU/集中治療センター	13～17時 (予約制)	
	NICU/GCU	13～19時 (受付は18:50迄)	両親のみ面会可能

●患者さんの症状や治療内容により、面会をお断りする場合や面会時間を個別に設定する場合があります。

●咳や発熱・下痢などがあり、感染症が疑われる時は来院をご遠慮ください。

●インフルエンザやノロウイルス・新型コロナウイルス感染症・麻疹などの感染症が流行している時には、来院をご遠慮いただく場合や面会時間を変更する場合があります。(その都度、面会時間等ホームページをご確認ください。)

●生花の持参は感染予防のためお断りしています。

●院内では、感染防止対策のためマスク着用をお願いしております。ご理解の程お願いいたします。

☑ 面会手続き方法

○面会の際は必ず面会用紙に必要事項を記入し、面会カードの貸与を受け、面会中は必ずご着用ください。未着用の場合は病院スタッフよりお声がけさせていただきます。

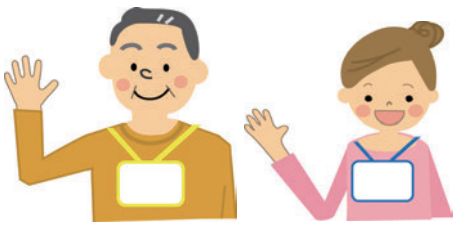
(病院より貸与した面会カード等は必ずご返却いただきますようお願いします。)

【面会申し込み受付場所について】

平日の13:00～17:00 ⇒ 各病棟ナースステーション

平日の17:00～、土・日、祝日、年末年始 ⇒ 病院地下1階防災センター

※面会時間外は、お声がけさせて頂く場合がございます。



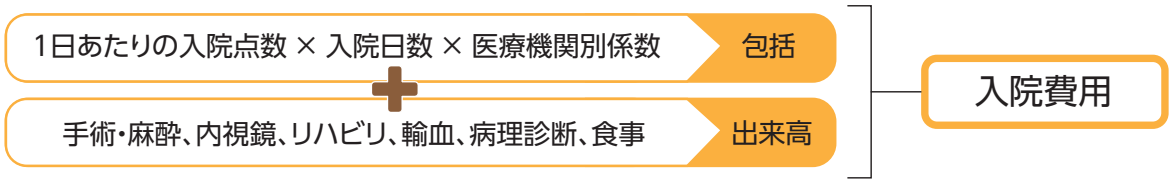
8 医療費等について

医療費の計算方法（DPC）について

当院は、DPC対象病院です。DPCとは、病名や手術、処置などの内容に応じた1日あたりの定額の医療費を基本として全体の医療費の計算を行う「包括払い」方式です。なお、手術やリハビリ、内視鏡、歯科治療などの専門的な技術料については、これまでどおり「出来高払い」方式で医療費が計算されますので、入院にかかる医療費は、包括分と出来高分とを合計したものになります。

DPC（診断群分類別包括評価）の計算方法

「1日あたり」…入室初日を1日目とし、日付の変更毎に日数を加算します。（1泊という考えとは異なります。）



※医療機関別係数とは、病院の機能に応じて病院ごとに定められている係数で、各医療機関によって異なります。
※包括入院料の対象患者さんでも、入院時食事療養費や手術に関する費用、内視鏡検査、歯科治療、心臓カテーテル法による諸検査、一部高額な処置、退院時処方などは包括入院料とは別に算定されます。
※病名・治療内容により診断群分類が変更され、ご請求金額が変わる場合は、退院後に追加請求または返金のご連絡をさせていただくことがありますので、ご了承ください。

室料差額室（有料個室）の料金について

- 個室および準個室に入室される場合は、保険一部負担金とは別に、1日につき下記の料金が必要です。
- 個室および準個室に入室される場合は「室料差額室入室確認書（同意書）」の提出が必要です。
- 「治療の必要上」・「感染防止等病棟運営上」等病院側の判断により入室いただいた場合は、個室料金はいただきません。

令和7年4月1日より

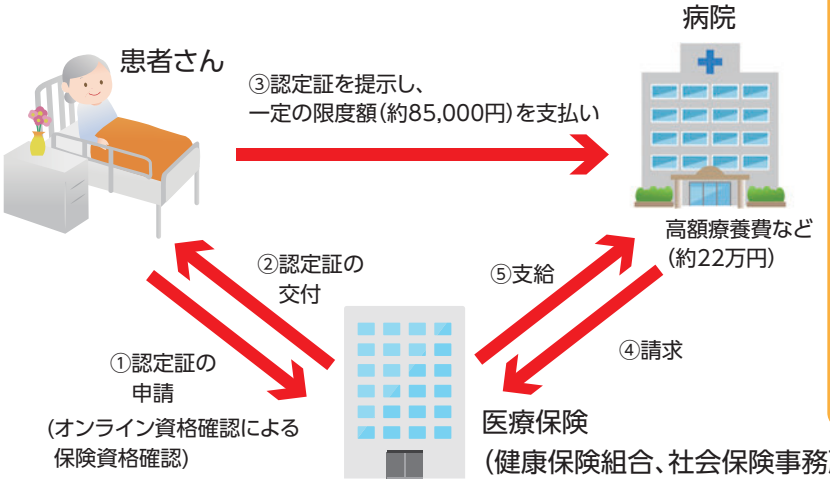
病室の区分	病室の提供について、消費税及び地方消費税を課せられる場合	大阪市の住民	病室の提供について、消費税及び地方消費税を課せられない場合※1	大阪市の住民	主たる設備※2
特別個室A （18階） 35.1㎡	39,600円	33,000円	36,000円	30,000円	浴室、洗面台、電話、トイレ、ロッカー、キッチン、電磁コンロ、応接セット、冷蔵庫、ブルーレイ/DVD内蔵テレビ、インターネット環境※5
特別個室B （18階） 17.5㎡/18.5㎡	29,700円	25,300円	27,000円	23,000円	浴室、洗面台、電話、トイレ、ロッカー、キッチン、電磁コンロ、応接セット、冷蔵庫、ブルーレイ/DVD内蔵テレビ、インターネット環境※5
一般個室 （6～17階）※4 16.2㎡/17.5㎡	16,500円	14,300円	15,000円	13,000円	トイレ、ロッカー、応接セット、冷蔵庫、テレビ※3、ブルーレイ/DVDプレーヤー※3※6、インターネット環境※5
4人部屋 **準個室ユニット** （窓側）	3,300円		3,000円		収納家具、収納付スツール、冷蔵庫※3、テレビ※3、ブルーレイ/DVDプレーヤー※3※6
4人部屋 **準個室ユニット** （廊下側）	2,750円		2,500円		収納家具、収納付スツール、冷蔵庫※3、テレビ※3、ブルーレイ/DVDプレーヤー※3※6

※1　通常は消費税及び地方消費税が課せられますが、助産等で入室される場合には非課税となります。
※2　一部病室については設備等が異なりますので詳しくは1階入院窓口等へお問い合わせください。
※3　プリペイドカード式
※4　6階病棟については病室ごとに仕様が異なりますので詳しくは病棟までお問い合わせください。
※5　Wi-Fi 接続サービスの利用は、周波数5GHz帯対応の端末のみとなります。
※6　貸し出し式です。

高額療養費現物給付制度について

●オンライン資格確認が可能です。
●入院時に高額療養費の制度の適用がなされていれば、対象分の医療費は自己負担限度額までの支払いとなります。
●オンライン資格確認ができない場合にこの制度を利用するためには入院前に手続きが必要です。加入されている医療保険者(国民健康保険、各種健康保険等)へ事前に申請を行い、発行された「限度額適用認定証」又は「限度額適用・標準負担額減額認定証」を、入院手続き時に提示していただく必要があります。※
●医療機関の窓口で支払う限度額は、患者さんの所得区分に応じて異なります。なお、食事の負担額や差額ベッドなどの費用は、高額療養費制度の対象には含まれません。
70歳以上の方は、所得区分により患者負担割合が異なります。詳しくは、役所にお問い合わせください。また、入院当日に「資格確認書」および「高齢者受給者証」または「後期高齢者医療被保険者証」を必ずご提示ください。入院時お使いいただいた「限度額適用認定証」又は「限度額適用・標準負担額減額認定証」は、有効期限まで、引き続き外来受診の際もお使いいただけます。(必ず窓口でご提示ください。)※
●高額療養費現物給付制度は医科と歯科、入院と外来に分かれております。※
※オンライン資格確認システムで照合可能であれば手続きの必要はありません。

例：限度額が約85,000円と認定された患者さんが、
手術を伴う入院をし、保険(3割負担)適用後30万円の
請求となった場合



●オンライン資格確認システムの利用について
・当院では患者さんの同意のもと、オンライン資格確認システムを利用しています。本システムでは入院中でも、高額療養費現物給付資格などを照会することができます。(照会は当院職員が行います。)
・市町村発行の公費負担の医療証など本システムでは確認できない資格情報もあります。
・資格情報を確認できない場合は、ご自身またはご家族にてお手続きをお願いしております。
・本システムの利用に同意されない場合は「入院申込書」にご記載ください。
事前申請もしくはオンライン資格確認システムの利用をされない場合、一旦全額患者さんにお支払いいただき、患者さん自身での還付手続きが必要となります。

(令和8年8月1日より)

		適用区分	同一月(1日から末日まで)の上限額(世帯ごと)	多数回該当の方
70歳未満の方	ア	年収約1,160万円～	270,300円+(医療費−901,000円)×1%	140,100円
	イ	年収約770万円～約1,160万円	179,100円+(医療費−597,000円)×1%	93,000円
	ウ	年収約370万円～約770万円	85,800円+(医療費−286,000円)×1%	44,400円
	エ	～年収約370万円	61,500円	44,400円
	オ	住民税非課税者	36,900円	24,600円

		適用区分	同一月(1日から末日まで)の上限額(世帯ごと)	多数回該当の方
70歳以上の方	現役並み	約1,160万円～	270,300円+(医療費−901,000円)×1%	140,100円
		年収約770万円～約1,160万円	179,100円+(医療費−597,000円)×1%	93,000円
		年収約370万円～約770万円	85,800円+(医療費−286,000円)×1%	44,400円
	一般	年収約156万円～約370万円	61,500円	44,400円
	住民税非課税等	住民税非課税世帯	25,700円	24,600円
		住民税非課税世帯 (年金収入80万円以下など)	15,700円	—

●ご不明な点がございましたらご加入の医療保険者(健康保険組合、全国健康保険協会、共済組合、国民健康保険組合にご加入の方)、お住まいの市町村窓口(国民健康保険にご加入の方)、各都道府県の後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療制度の方)、または相談窓口②番(休診日を除く9:00～16:45)までお問い合わせください。

入院費用について　※ご退院までに必ず全額ご準備ください。

☑ 請求

●入院中の患者さんには毎月10日すぎに、前月末日迄の1ケ月分の請求額をお知らせいたします。
●退院の場合は、当日の午前中まで(一部病棟を除く)に請求額をお知らせいたします。
(退院日が休日の場合は、直前の平日になります。)
●事前に入院費用をお知りになりたい場合は病棟事務職員にお申し出ください。
●休日および時間外の退院に関しては、請求書をお渡ししていない方は以下の一部金をお預かりさせていただきますのでご了承ください。

健康保険有り…… 1割負担　10,000円　3割負担　30,000円　　健康保険無し……自費負担 100,000円
2割負担　20,000円　公費負担　10,000円
(一部負担金が定額の方は窓口にてその旨お申し込みください。)

●入院後、患者さんの状態等により予定していた治療等の実施が難しいと判断した場合、退院していただくことがあります。そのような理由により、やむを得ず退院となった場合、入院費用はお支払いいただくことになります。
●当院では、日本で有効な公的医療保険資格を有していない外国人患者さんの診療については、円滑で安全な診療環境整備を維持するため、保険診療点数1点につき30円(+消費税)の請求としております。
●入院費用相談、公的支援相談が必要な場合はP3(2相談窓口)をご覧ください。
※医療費は全て一括払いです。(分括払いはできません)。

☑ 支払い期日

●入院中は請求書をお渡しした日から5日以内、退院の場合は、退院の当日までに全額お支払いください。
●退院後にお支払いの確認ができない場合は、お電話にて確認させていただく場合がございますので予めご了承ください。入院中の支払が未納になると次回以降の入院・診察が出来ない場合があります。

☑ 支払い場所(24時間お支払い可能)

●診療日の9:00～17:15　自動支払機又は1階会計⑭～⑰番でお支払いください。自動支払機には診察券(IDカード)が必要となりますので、ご用意ください。
●上記以外の時間は地下1階「時間外受付」(警備室横)でお支払いください。
※クレジットカード、デビットカードでもお支払いいただけます。

☑ クレジットカード・デビットカードの利用について

お支払いにクレジットカード、デビットカードがご利用いただけます。
医療費後払いサービスのご利用も可能です。(詳しくは15ページ)

1　お使いいただけるクレジットカードは下記のとおりです。(1回払い・分割払い・リボルビング払い)

2　お使いいただける場所・時間　病院1階会計窓口⑭～⑰番：平日9:00～17:15
病院1階自動支払機　：平日9:00～17:00
病院地下1階時間外受付　：平日窓口取り扱い時間外及び土曜・日曜・祝日

☑ 医療費の計算方法

●医療費は原則として一部診療費を除き「包括評価(DPC評価)」で算定します。(P.12参照)
●保険適用外の費用は全額患者さんのご負担となります。その際は同意書が必要となりますので必ずご提出ください。(特別な場合を除き、消費税及び地方消費税が課税されます。)
●診療の追加(検査、処置等)で入院費用に追加料金等が発生することがあります。このような場合には後日ご連絡いたしますので精算をお願いいたします。
●歯科・口腔外科の診療費用は医科の費用とは別計算になります。

☑ 入院料等の「1日につき」について

●「1日につき」…入室初日を1日目とし、日付の変更毎に日数を加算します。(1泊という考えとは異なります。)
[例えば…午後8時入院、翌日午前10時退院した場合は2日とカウントします。]

退院について

●退院日については、主治医の退院許可があったのち、医療者からご連絡いたします。
●退院時間については、病棟の状況に応じて決めさせていただくことがあります。

※転院について

●**当院は高度先進医療を提供する特定機能病院です。急性期の治療が主となるため、症状が安定し長期療養が必要となる場合には転院をしていただくことが必要となりますのでご了承ください。**

証明書等の発行

●診断書、証明書が必要な場合は、入院期間中に病棟事務職員まで（平日　月～金　9時～17時）ご相談ください。退院後発行となる書類は退院日以降に1階中央会計㉒番「診断書受付窓口」にてお申込みください（救命救急センターは平日　月～金　9時～12時　13時～17時に4階事務へ）。
（当院では、転院の方のみ退院証明書をお渡ししております。別途必要な場合は、入院期間中に病棟事務職員までお申し出ください。）
診断書、証明書の発行には料金がかかり、内容・書式により金額が異なります。
（金額等詳細につきましては予めお問い合わせください。）

「個別の診療報酬の算定項目の分かる明細書」の発行について

●当院では医療の透明化や患者さんへの情報提供を推進するため、診療報酬の算定項目が分かる明細書を「入院診療費のお知らせ」をお渡しする際に発行いたしております（無料）。また、公費負担医療の受給者で医療費の自己負担のない患者さんにおかれましても、明細書を無料で発行しております。
●診療報酬明細書には、下記の診療行為が記載されますのでお取り扱いには十分ご注意ください。
・使用した薬剤の名称　・検査の名称　・診療行為の名称など
※明細書の発行を希望されない方は、入院申込書内の発行不要欄に□✓マークをご記入いただくか、1階入院窓口⑳㉑番までお申し出ください。

医療費控除

●医療費は所得税の計算上、税控除の対象となる場合がございます。領収書は再発行できませんので、大切に保管してください。

忘れ物の取扱いについて

●退院時の忘れ物は、入院されていた病棟で3ヶ月間保管し、患者さんからの申し出がなければ処分いたします。
（病院側からの連絡はいたしません。）

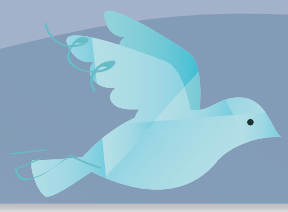
医療費後払いサービスについて

●当院では、患者さんや付き添う方のお身体への負担、待ち時間を軽減するため、本院診察券とクレジットカードをお持ちの方で、事前にご登録いただければ、医療費を後払いにすることで、会計を待たずにすぐ帰れる、当院専用の安心・安全なキャッシュレスの医療費後払いサービスを導入しております。
●患者さんの登録料・利用料は無料です。外来・入院どちらでも利用可能です。
●詳細は、本院ホームページの「医療費後払いについて」のページを併せてご確認ください。

【ご利用方法】
1　下記URLか右記二次元コードより、初回のみ、ご入院前にご登録ください。
　omu.info/a-atobarai
2　（初回登録がお済の方）　ご入院時に、病院1階入院受付窓口㉑番に後払い利用の有無をお申し出ください。
　（入院中にご登録された方）　退院予定日より2営業日前までに、ナースステーションに後払い利用の有無をお申し出ください。
3　医療費はご登録のクレジットカードから退院日から**5日後以降**に決済されます。
　※一括払いのみ　※お使いいただけるクレジットカードは下記の5大国際ブランドです。
　JCB/AMERICAN EXPRESS /Diners Club/ VISA/Mastercard

登録用
二次元コード

9 病院施設について



院内施設案内

（令和８年４月現在）

施設名	設置場所	使用方法・営業時間など
浴室	各病棟	各病棟の利用時間・利用方法に従ってご入浴ください。
テレビ・冷蔵庫	各病室	プリペイドカード式。専用プリペイドカードは病棟談話室のカード販売機で1枚1,000円で販売しております。カード残額は地下1階警備室前のカード精算機にて10円単位で精算できます。退院時には必ず専用プリペイドカードの精算を行ってください。
洗濯機・乾燥機	各病棟	
デイルーム（談話室）	各病棟	面会時にご利用ください（ブルーレイ／ＤＶＤ内蔵テレビ設置）
公衆電話	各病棟	10円・100円硬貨専用
病棟食堂	各病棟	一部の病棟にはありません。
カフェ（ドトールコーヒーショップ）	1階	平日　8：00～19：00 土日祝　9：00～15：00　（12/29～1/3は休業）
銀行（大阪シティ信用金庫）	地下1階	窓口　（平日）9：00～15：00 ATM（平日）8：00～19：00 （土曜日）9：00～14：00 （日・祝日、12/29～1/3は休業）
コンビニエンスストア（ローソン）	6階	24時間営業（年中無休） ゆうパック、郵便ポスト、コピー・ファックス、ＡＴＭ
清涼飲料水自動販売機	各階	24時間利用可能（一部の病棟は利用時間に制限あり）
食品自動販売機	1階	24時間利用可能 おにぎり、パン、菓子類などがご購入いただけます。
両替機	地下1階	警備室前にあります。 紙幣・硬貨のどちらの両替にも対応できます。
美容室（アンクス）	5階	月～金　9：00～18：00（祝日も営業） （土・日、12/29～1/3は休業）
庭園	6階	7：00～18：00
駐車場	病院北側（地下1階）	営業時間　8：00～20：00（年中無休） ※駐車したままのご入院は固くお断りいたします。
入院用品レンタル受付	1階	平日　9：00～16：00（土・日・祝日、12/29～1/3は休業）

各　階　案　内

（令和８年４月現在）

	西病棟（むらさき色ゾーン）7～18階	東病棟（みどり色ゾーン）6～18階	
18階	会議室	特別病棟	
17階	小児医療センター（こども病棟）	女性診療科（婦人科腫瘍） 女性診療科（産科・生殖内分泌・骨盤底医学）	
16階	整形外科　呼吸器外科	整形外科	
15階	消化器内科　麻酔科　泌尿器科（腎臓移植）	消化器外科	
14階	腎臓内科　泌尿器科（腎臓移植）	人工じん部	
13階	皮膚科　骨・内分泌内科 生活習慣病・糖尿病センター	耳鼻いんこう科　形成外科　歯科口腔外科	
12階	眼科　脳神経内科	脳神経外科　ＮＲＣＵ	
11階	肝胆膵内科　膠原病・リウマチ内科　乳腺外科	肝胆膵外科　救急科	
10階	循環器内科　心臓血管外科	集中治療センター（ICU/CCU）	
9階	HCU	呼吸器内科　感染症内科　総合診療科	
8階	新生児科（NICU GCU）分娩室　院内学級	女性診療科（産科・生殖内分泌・骨盤底医学） ＭＦＩＣＵ	
7階	放射線治療室　無菌病室	放射線科　血液内科　核医学科	
6階	コンビニエンスストア	神経精神科	庭　園
5階	歯科口腔外科　リハビリテーション科　事務室　看護部　医療機器部（診療材料室・MEセンター） 医療安全センター（医療の質・安全管理部　感染制御部　新規技術・医薬品審査部）　講堂　美容室		
4階	中央手術部（手術室・外来手術室）　救命救急センター　ECU　血管内手術・IVRセンター		
3階	外来診療部門　中央臨床検査部　病理診断科（病理部）　輸血部　肝炎防止調査センター		
2階	外来診療部門　栄養相談室　薬事相談室　治験相談室　遺伝カウンセリングルーム		
1階	外来診療部門　総合案内　入院窓口・会計窓口・相談窓口・診断書受付窓口　患者総合支援センター 入退院支援センター　化学療法センター　在宅医療材料払出室　自動支払機		カフェ 入院用品レンタル受付
地下1階	外来診療部門　救命救急センター　薬剤部　中央放射線部　内視鏡センター　おくすり渡し口 時間外受付・精算窓口　警備室・防災センター　休日・時間外出入口・駐車場出入口		銀行
地下2階	栄養部		

大阪公立大学医学部附属病院へのご支援のお願い

平素より、大阪公立大学医学部附属病院の事業運営に際しまして、
多大なご支援をいただき誠にありがとうございます。
皆さんからのご期待に応えられる病院づくりを進めるため、
関係者一同、より一層努力してまいりますので、
何卒、本寄附制度にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ご寄附につきましては、次の3種類がございます。

01 大阪公立大学・高専基金「医療・保健推進」

医療の発展、医療環境の整備及び保健事業の充実のための事業に活用させていただきます。
大阪府へのふるさと納税を通じて、ご支援いただけます。

02 大阪市ふるさと寄附金「公立大学振興関係」

医療スタッフの人材育成のために活用させていただきます。

03 大阪公立大学医学部附属病院寄附金

附属病院における高額医療機器等の購入、病棟の備品等購入に活用させていただきます。

<ご寄附の手続きについて>

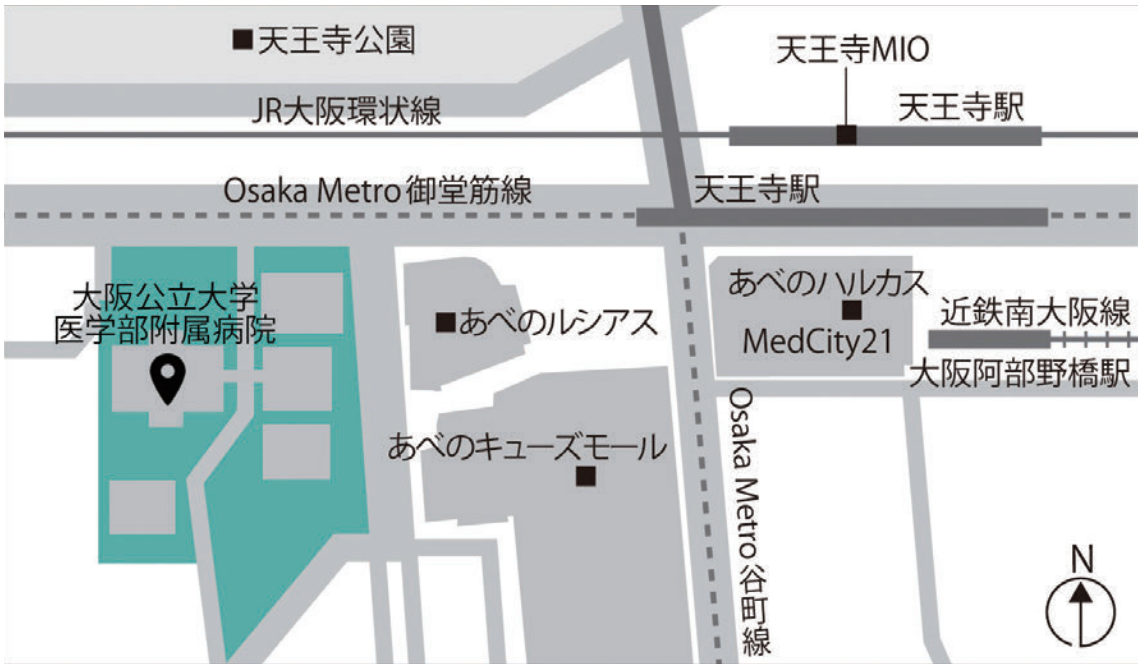
下記までお電話いただき、「寄附の件」とお申し出ください。
担当者が、ご相談に応じさせていただきます。

【代表電話】06-6645-2121（平日9:00-17:00）



なお、医師、看護師ほか病院職員個人への心づけ、謝礼・贈答品等は固くご辞退申し上げます。

MEMO



大阪公立大学医学部附属病院

〒545-8586 大阪市阿倍野区旭町1丁目5番7号　TEL. 06-6645-2121（代表）
https://www.hosp.omu.ac.jp/

公共交通機関でお越しの場合

[最寄駅・バス停]
大阪メトロ（地下鉄）御堂筋線「天王寺駅」…西改札を出て13番、14番出口方面へ（徒歩 約7分）
大阪メトロ（地下鉄）谷町線「天王寺駅」…南西・南東改札を出て直進し、階段を上り右、13番、14番出口方面へ（徒歩 約9分）
大阪メトロ（地下鉄）御堂筋線・堺筋線「動物園前駅」…東改札を出て右、2番出口方面へ（徒歩 約8分）
JR西日本各線「天王寺駅」…中央改札口を出て左へ（徒歩 約9分）
近畿日本鉄道南大阪線「大阪阿部野橋駅」…西改札を出て右へ（徒歩 約9分）
阪堺電気軌道上町線「天王寺駅前」…改札を出て地下道もしくは歩道橋へ（徒歩 約7分）
大阪シティバス「大阪公立大学附属病院」…下車すぐ
※地下道であべのルシアスまでお越しいただけます。

お車でお越しの場合

駐車場料金　（令和８年４月改定）

入退院患者の送迎の方	60分300円　当日最大料金1,500円	各病棟で駐車サービス券を発行いたします
お見舞いの方	60分500円　当日最大料金1,500円	

●各種キャッシュレス決済に対応しています。
●駐車スペースには限りがありますので満車の場合はご了承ください。また、駐車・駐輪したままのご入院は固くお断りいたします。
駐車場内での盗難・事故・トラブル等については当院では責任を負いかねますのでご自身での管理をお願いいたします。

●ご意見をお聞かせください

◎当院では、より良い病院づくりを目標に教職員一同日々努力しています。
◎頂いたご意見は、病院機能の充実、良質な医療・環境の向上のため活用させていただきます。
◎患者さんからのさまざまなご意見をいただけるよう「ご意見箱」を設置しています。
設置場所　各病棟談話室　1階玄関ホール　2階再診受付機左側　3階エスカレーターホール

令和8年10月